

令和6年度 学校経営計画・学校評価				□4月4日提出	□10月3日提出	■3月14日提出	学校番号	5	安芸	高等学校	課程	全	
高知県の教育の基本理念	(1) 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人 (2) 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人 (3) 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人			基本方針	① 予測困難な社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進 ② 多様な背景・特性・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進 ③ 生涯にわたって学ぶことができる環境づくりと活動・取組の推進 ④ 各種施策を総合的・計画的に推進するために必要な基礎的・基盤的な環境・体制等の整備			学校関係者評価					
	スクール・ポリシー	【アドミッション・ポリシー】(入学受け入れ方針) ○ 学習に真摯に取り組み、入学後も向上心を持って取り組むことができる生徒 ○ 文武両道を目指し、基本的な生活習慣を身に付け、規律ある集団生活ができる生徒 ○ 高校生活に明確な目標を持ち、興味関心が高い生徒 【グラデュエーション・ポリシー】(育成を目指す生徒の資質・能力) ○ 確かな学力、豊かな心情、心身の健康を目指し、礼儀と秩序を尊ぶことができる力の育成 ○ 地域の課題を探究し、「思考力」「表現力」を磨き、専門分野の知識をいかし地域を牽引する意欲をもって取り組むことができる力の育成 ○ 将来の目標に向かって、自ら求め、考え、行動することができる力の育成			【カリキュラム・ポリシー】(教育課程の編成・実施方針) ○ 習熟度別学習や少人数選択科目等により、個々の能力に応じた教育を行います。 ○ タブレットやICTを活用し、知的刺激にあふれた授業や個別指導・添削により、質の高い学習を進めます。 ○ 豊富な地域の講師陣から学ぶグローバルな視点での活動を行います ○ 探究学習や地域課題探究などの探究学習を行うことで、思考力や表現力を身に付けられる教育を行います。 ○ 産業界における地元企業と連携した実践的な授業を行うことで、職業人として必要な資質・能力を身に付けられる教育を行います。 ○ 地域イベントへの参加やものづくり活動により地域貢献活動を行います。 ○ 研究発表等を行い、学校の魅力を外部に発信します。			【学力の向上】 評価 【 B 】 ・教員と生徒の学び合いが大事ではないか、学びの楽しさを、中高一貫教育の強みを活かし、6年後の進学・就職の目標・結果が大事。 ・基礎授業期～充実・深化期～発展・伸長期をより具体化しながら、生徒は小刻みな成就感や成功体験を通して、大きく伸びていくでしょう。 ・生徒の持つ様々な特性に即応しながら向上に取り組んでいる。 ・自尊感情の向上、ほめること、励ますこと、寄りそうことをしっかりと計画を立て、楽しい授業、生き生きとした授業になるよう、先生方も授業をすすめてほしい。 【社会性の育成】 評価 【 A 】 ・地域との結びつきができていて、次の担い手の育成も少し考えていってほしい。 ・数多く、いろいろな取り組みができていていると思う。地域の教育資源にも目を向け、活用してほしい。 ・充分地域と連携ができていて、引き継ぎ地域に継がれた活動をしてください。 ・学力の向上に支えられた協働学習、横断的学習に取り組んでいる。 【チーム学校】 評価 【 B 】 ・チーム学校の取り組みをもっと生かして、将来の目標や夢が叶えられる取り組みが必要。 ・教職員が生き生きと生徒と接することができることが、教職員の満足度につながる。そしてそれが自己研鑽へとつながっていけば、生徒がよりよく成長する環境につながる。					
		(評価)A: 目標を十分に達成 B: 目標をほぼ達成 C: やや不十分 D: 不十分											
重点項目	学力の向上	育成を目指す資質・能力【P】	現状と目標(評価指標)	具体的な取組内容【D】	中間評価【C】	中間評価後の取組内容【P・D】	年度末評価【C】	見直しのポイント【A】					
		★確かな学力 ○基礎的・基本的・発展的な知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○学びに向かう力、人間性等 ★将来を見通した学び ○将来にわたって学び続ける意欲(学習習慣を含む)	○C層以上の生徒の増加 ・1年 44.1% → 60% ・2年 63.3% → 65% ○授業外学習時間の増加 授業外学習(家庭学習等)をほとんどしない」と回答する生徒の割合 1年 12.3% → 7% 2年 18.6% → 5% 【普通科】 ・スタディーサポート GTZ「S層・A層」 1年 12.1% → 15% 2年 12.2% → 15% ・国公立大学への進学者30%以上 <R4【20.8%(11名)】 R5【16.9%(12名)】> ・英検準2級以上卒業時取得率 R5 49% → R6 60%	・「主体的対話的で深い学び」授業の実践 ・公開授業での相互評価による指導力向上 放課後補習を1学期より毎週実施(30回実施のべ50人) ・宿題・週末課題等による授業外学習時間の促進 ・総合的な探究の時間及び課題研究での課題解決能力の育成 【普通科】 ・「CasioClassPad」の長期的計画的活用 【機械土木科・ビジネス科】 ・専門科の資格取得の補習の充実 ・デジタルドリル「すらら」の長期的計画的活用 ・外部講師による専門力向上	・授業外学習時間の増加 授業外学習(家庭学習等)を「ほとんどしない」と回答する生徒の割合 1年 20.0% → 25.8% 2年 27.4% → 57.5% ・スタディーサポート GTZ「S層・A層」の生徒の割合 1年 0.0% → 6.7% 2年 14.1% → 15.2% ・英検準2級以上卒業時取得率 R5 49% → R6 60% ・学習支援員による放課後補習(71時間延べ182名実施) ・県外大学体験(岡山大学) ・3年生の放課後補習実施 ・土曜日補習実施	・進路希望に応じた科目選択のため、個別面接指導等成績向上への動機づけ生徒支援委員会を通して情報共有と具体的な支援についての話し合い(4回実施) ・放課後補力補習の継続実施(平日週2日実施) ・資格試験の取組(英検) ・技術競技大会への取組(産業教育工業・商業・家庭で出場予定) ・「ClassPad」「すらら」の活用の推進 ・放課後および土曜補習継続実施(毎週) ・公開参観授業週間の実施(10月28日～11月9日)	・スタサポ結果(1回目⇒2回目)○C層以上の生徒の増加 ・1年 44.1% → 63.0% ・2年 63.3% → 74.2% ※普通科・専門科ともに目標値達成 (普90%以上)、「カシオClassPad」の活用も良い 1人(78.2回/月) (専35%以上)、「すらら」の活用はもうひと頑張り状況 ・「総合的な探究の時間」は、地域、大学や企業との連携ができた。DXチームは磯部組と連携し技術指導を受けた ○授業外学習時間の増加 授業外学習(家庭学習等)を「ほとんどしない」と回答する生徒の割合 1年 25.8% → 24.7% 2年 57.5% → 50.8% 【普通科】 進研模試 3教科総合平均偏差値 7月→11月 1年 42.9%→43.3% 2年 45.2%→43.6% 国公立大学進学率 32.4%(74名中24名)	・授業外学習時間の認識及び増加させるための啓発活動 ・継続してC層以上の生徒の増加に取り組む(普通科、専門科) ・総合的な探究の時間の年間指導計画の見直し					
		★豊かな心 ○自己存在感、自己有用感、コミュニケーション力、自己決定力等 ★多様性・包摂性 ○キャリアデザイン力(やりぬく力) ○他者への思いやり(地域・社会貢献、ボランティア活動等も含む)	・生徒会活動の充実 ・学校評価アンケート「特別活動の充実」における肯定的意見の割合85%以上 <R4 84.8% R5 81.2%> ・地域貢献及び地域課題活動の充実 <R5 総探により、情報収集・分析力・プレゼンテーション力・コミュニケーション力等の向上が図られた>	・学校行事(遠足・文化祭・修学旅行他)の充実 校外清掃ボランティア活動の活性化 ・挨拶運動の実施 ・ものづくり総合技術展参加を計画 ・キャリアノートの活用 ・職場体験学習(インターンシップ他) 工業：星神社参道整備 商業：桜市2回・ふるさと祭販売等 商品開発、観光列車おもてなしによる取組	・探究型の総合学習を立案・実施 1年生：職業人講話・RESASを用いたデータ分析等を通して地域課題解決に向けての仮説を提案 2年生：1年生で立てた仮説に基づいた課題解決型探究活動 3年生：個人による進路探究 ・観光列車おもてなし、桜市、商い 甲子園地域イベント等出店や参加	・探究活動は課題設定～情報収集～まとめ・表現に至る「探究のプロセス」を確実に進めていく。成果発表に向けて、活動の分析等のまとめを指導していく。 ・地域貢献活動 星神社参道整備(11月) 桜市2回、観光列車おもてなし ・修学旅行2年生(11月26日～3泊4日) ・課題研究発表会の実施 ・ブラッシュアップセミナー ・スーツ着こなしセミナー	・学校評価アンケート(生徒)「学校行事が充実」81.5% 「生徒会が充実」71.9% 「ボランティア・地域貢献に協力」83.8% ・生徒会が色々な場面で活躍してくれた。(韓国高校生との交流、開校記念式典、文化祭、防災活動、プロキング、AKB活動等) ・授業の一環で地域貢献活動に取り組んだ。(かがりピーチ、きさらぎ市、星神社参道整備、桜市、安芸しる、観光列車のおもてなし等) ・得意分野で、生徒が全国大会に出場(部活動、エナジード、コンクリート甲子園等)	・活動した内容等を自己の進路へ結びつける。(キャリアパスの活用の推進)					
取組項目	地域協働学習	【取組のねらい】 ○生徒の社会的自立・社会参画に必要な資質・能力の育成 ○地域・関係機関との連携 ○専門分野を生かした就職と進学の強化	・地域行事や各種ボランティア活動における前年度を上回る参加生徒数 <R5ボランティア活動参加生徒数(中・高(普のみ)延べ人数)94名26.7% ※1月は雨で中止> 【機械土木科・ビジネス科】 ・社会人として必要な資質能力の育成(出店と運営委員会へ参加) ・地域に貢献のできる人材の育成 ・校外におけるICT等を活用した教員研修の参加	・ボランティア活動への積極的参加 ・総合的な探究の時間や課題研究での地域との連携 ・DX・ハイスchoolの取組 【機械土木科・ビジネス科】 ○生徒の資質・能力の育成 ・外部講師による講義を実施 ○学校の関係機関との連携 ・商い甲子園の運営への参画 ・安芸市商工会との連携 ・産官学の交流・連携 ・民間企業との連携授業を15回/年以上を目標として計画	・地元の病院を中心にふれあい看護体験(6カ所 12名参加) ・女性防災プロジェクトプログラム(宮城県仙台市視察 発表2名参加) ・ボランティア活動 生徒延べ72名参加 ・商い甲子園運営参画 ・産業PRイベント参加 ・安芸商工会議所のロゴシールをデザイナーの指導を受けて作成	・ものづくり総合技術展および企業見学(11/14) 専門科全学年・普通科1年生参加 ・外部講師による講義による溶接技術向上実習の実施(高等技術学校に依頼) ・高知大学(日本人・海外留学生との交流による地域の魅力再発見)	・生徒の社会的自立・社会参画のために、様々なイベントへ参加(ものづくり総合科学展、女性防災プロジェクト、商い甲子園の運営ボランティア等各種ボランティア活動への積極的参加) ・高知県工業会(地元企業)との交流事業を実施	・継続して地域貢献活動へ参加					
	教科横断的教育	【取組のねらい】 ○学習の基盤となる言語能力や情報活用能力の育成 ○各教科の学びを実社会での課題発見や解決に結び付ける力の育成	・専門教科目の普通科生徒への波及プログラムを検討する ・理系人材の育成(理系離れがある) 【機械土木科・ビジネス科】 ・課題研究を通して課題発見や問題解決能力の育成	・デジタルコンテンツを利用し、ハイスchoolDXに取組み(5年計画)、専門科と普通科の協働によるものづくりを推進 総究や課研の活用 【機械土木科・ビジネス科】 ・コンクリート甲子園参加 ・商い甲子園の企画・出店 ・桜市の開催	・DXルーム設置 ・ハイスベックPCの購入 ・商い甲子園 出店 ・コンクリート甲子園参加(予選1位通過) ・桜市の開催(安芸市役所内)	・理系人材育成につながる民間企業との連携授業(安芸防災マップの制作) ・コンクリート甲子園(本戦出場) ・桜市の開催(高知市内)	・DXルームに関連機器等が設置され、工業科の専門力や民間企業と連携し、総合的な探究の時間を使い、探究活動が始動 ・エナジードのファイナルの発表で工業科の協力で、作成した「シャモギリ君」が好評を得て、「実現力賞」の受賞	・授業デザインプロジェクトに取り組む ・普通科、工業科、商業科の連携の取組 ・DXハイスchoolの推進					
チーム学校	学校の振興	取組のねらい【P】 ★学校の魅力化 ○部活動の活性化 ○生徒の資質・能力の育成 ○教員の指導力向上 ○関係機関との連携 ○専門高校(学科)の魅力化	・部活動入部率90%以上 <80.3%> ・四国大会出場8部、全国大会出場8部を目標 < 四国大会3部>< 全国大会4部> ・学校評価アンケート「部活動の充実」における肯定的意見の割合85%以上 <81.7%> 【機械土木科・ビジネス科】 ・3年生3月末時点の進路決定率100%(R5年度96%→目標100%) ・入学者充足率50%以上 <R5年度入学生42.5%> ・出前授業(R5年度 中学校1校→目標5校)	・HPやメディア等を利用し魅力の発信 ・授業や補習の充実 ・部活動の中学生へのPR活動 ・外部講師等を活用した進路指導の充実 【機械土木科・ビジネス科】 ・専門性の高い検定試験対策補習 ・公務員補習の実施 ・外部講師の招へい(連携授業の実施) ・地域と連携したものづくり教室の実施 ・地域イベントに参加・企画する ・高校説明会 中学校(安芸・野市)の説明会	・部活動入部率(5月現在)77% ・四国大会出場(9月現在)5部(弓道・陸上競技・体操競技・水泳競技・ワوبر) ・全国大会出場(9月現在)4部(陸上競技・体操競技・吹奏楽・ワوبر) ・進路決定に向け複数教員の指導(就職が3名内定) ・公式SNSの開設 ・中学校教員向け説明会(野市中)の実施 ・県中東部の中学校説明会の実施(13校) ・清桜祭(文化祭)の実施 ・仮装行列の実施	・開校記念式典実施(10/26) ・公式SNSの活用・魅力発信 ・第2回学校運営評議会の実施 ・学校評価アンケート実施分析 ・進路決定率100%を目指す ・部活動の振興	・学校評価アンケート(生徒)「部活動が充実」79.9% 「学校生活が充実」91.1% 「学校はICTの活用に積極的に取り組んでいる」89.8% 「先生は生徒が意欲をもって授業に参加できるような工夫をしているか」80.2% ・運動部、文化部活動で四国大会や全国大会出場。 ・進路が順調に決定(国公立大学11名・公務員1名 等合格) ・9月より公式Instagramを開設し、生徒・保護者・地域等へ情報発信がきている。(現在フォロワー510名) ・東部地域の中学校へ高校説明会を実施。 ・開校記念式典、記念講演、祝賀会は、盛会裏に終了	・積極的に安芸高校の魅力や地域等へ情報発信 ・工業科の魅力化計画とPR活動の強化					
	不祥事防止	★教職員の倫理観の堅持 ○不祥事防止対策の徹底 ○よりよい職場風土づくり ○教職員のメンタルヘルス ○不祥事発生時の適切な対応	・風通しの良い職場環境づくり ・職員朝礼や職員会での定期的な注意喚起 ・成績処理の時期には「データの管理」など、スケジュールに対応した注意を事前に行う ・不祥事防止委員会の設置と実施(年間3回以上)	・不祥事防止強化月間の実施 6月教育実習に合わせてパワハラ・セクハラ防止強化月間 ・注意喚起と情報共有の徹底 ・日頃のコミュニケーション	・不祥事防止委員会の設置 ・不祥事防止委員会の定期実施 ・不祥事防止月間の実施(6月) ・職員朝礼や職員会議での注意喚起や情報共有の実施 ・SCによる研修会の実施	・不祥事防止委員会の実施 ・あらゆる場での注意喚起や情報提供等の継続実施	・不祥事防止委員会や研修会を定期的に開催(6回)また、あらゆる場での注意喚起や情報提供等の実施	・継続して不祥事防止に取り組む。 ・職員全体で目くばせ、気配りを行い小さな変化に気付ける職場づくりを行う					
	働き方改革	★長時間勤務の解消 ○組織としての業務改善に努めることで教職員自らが人間性や創造性を高め、より効果的に持続可能な学校教育を実現する	・休暇が取りやすい環境整備 ・ICTを活用した業務改善 ・新築校舎での校内施設・設備及び教室環境等の点検・整備	・管理職員による適切な業務管理及び勤務時間管理 ・相談しやすい関係および体制づくり ・夏季休校日4日(R6年度9連休) ・ノー残業デー(月1回実施) ・スクラップアンドビルドによる組織の見直しと役割分担	・衛生委員会の実施(月1回) ・学習支援員や部活動支援員を最大限に活用 ・定期的な「保健便り」の発行等、生徒・教職員への健康諸問題への啓蒙活動の実施 ・学校閉庁日4日 ・ノー残業デーを月1回設定実施	・学校行事の精選による勤務体系の適正化(時間外勤務の抑制) ・事務部及び生徒支援部による校内施設・設備の点検・整備 ・労働安全に係る衛生委員会の適時開催と周知	・目標設定シートに係る面談等を活用し、職員の置かれている状況を把握し声掛け ・衛生委員会を毎月実施し、長時間勤務者の把握と改善・助言 ・閉庁日、ノー残業デーの実施	・休暇が取りやすい環境整備 ・ICTを活用した業務改善の推進					